

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 687 2025年
1月号
1部60円
友の会会員は会費に含まれています
発行 東京勤労者医療会代々木病院
院長 河邊 博正
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi



謹賀新年

2025年元旦 代々木病院 職員一同



看護部



透析室



健診課



リハビリ室



患者サポートセンター



栄養課



訪問リハビリ



精神科・デイケア



総務課



院長あいさつ 河邊 博正

新年、明けましておめでとうございます。

「健康まつり」や「健康講座」の開催、盆踊り大会での「健康チェック」活動など、健康増進活動拠点病院（HPPH）として地域の健康づくりを大切に、まちづくりの一助となるよう努力してまいります。一方で、物価高騰による生活困窮、さらなる社会保障の切り捨てなど、私たちの暮らしを取り巻く状況は厳しさを増しています。年頭にあたり、安心して住み続けられるまちづくりを目指し、友の会会員の皆様、地域の皆様と一緒に手を携え、立ち向かっていく思いです。本年もよろしくお願ひ致します。

千駄の萱

あけましておめでとうございます。未だ内外共に「おめでと〜」とは言いがたい情勢だが、

自公政権を過半数割れに追い込んだ事だけは良いでしょう。その効果は103万円の壁問題や政治資金規正法に再度メスを入れる動きなど、次々に出てきている。11月号で「化けの皮を剥いでやりたい」と書いたが、なんとなんと、化けの皮をどんでん払いしてくれるので面白い展開になっている。特に石破氏は従来の自分の主張すら否定するかのような言動で、完全に老筋の傀儡化している。もしかすると深慮遠謀の最中で、本格的に実権を握るための雌伏の時なのかもしれないが「筋を通す人」というイメージは自民党員の中ですら崩壊し、そんな先まで持ちそうも無い▼世界に目を向けるとまさかのトランプ復権。これだけでも波乱要素満載な中、中東では戦火がさらに拡大し、その中でシリア独裁政権が崩壊。みんな忘れていたが、近年の中東不安の原因はトランプが強引にエルサルレムを首都認定してから。お隣韓国では戒厳令と大統領弾劾という大混乱▼2025年こそ平和へ向かおう。(ひ)